

X I -3 ウイルス性疾患

3) 風疹

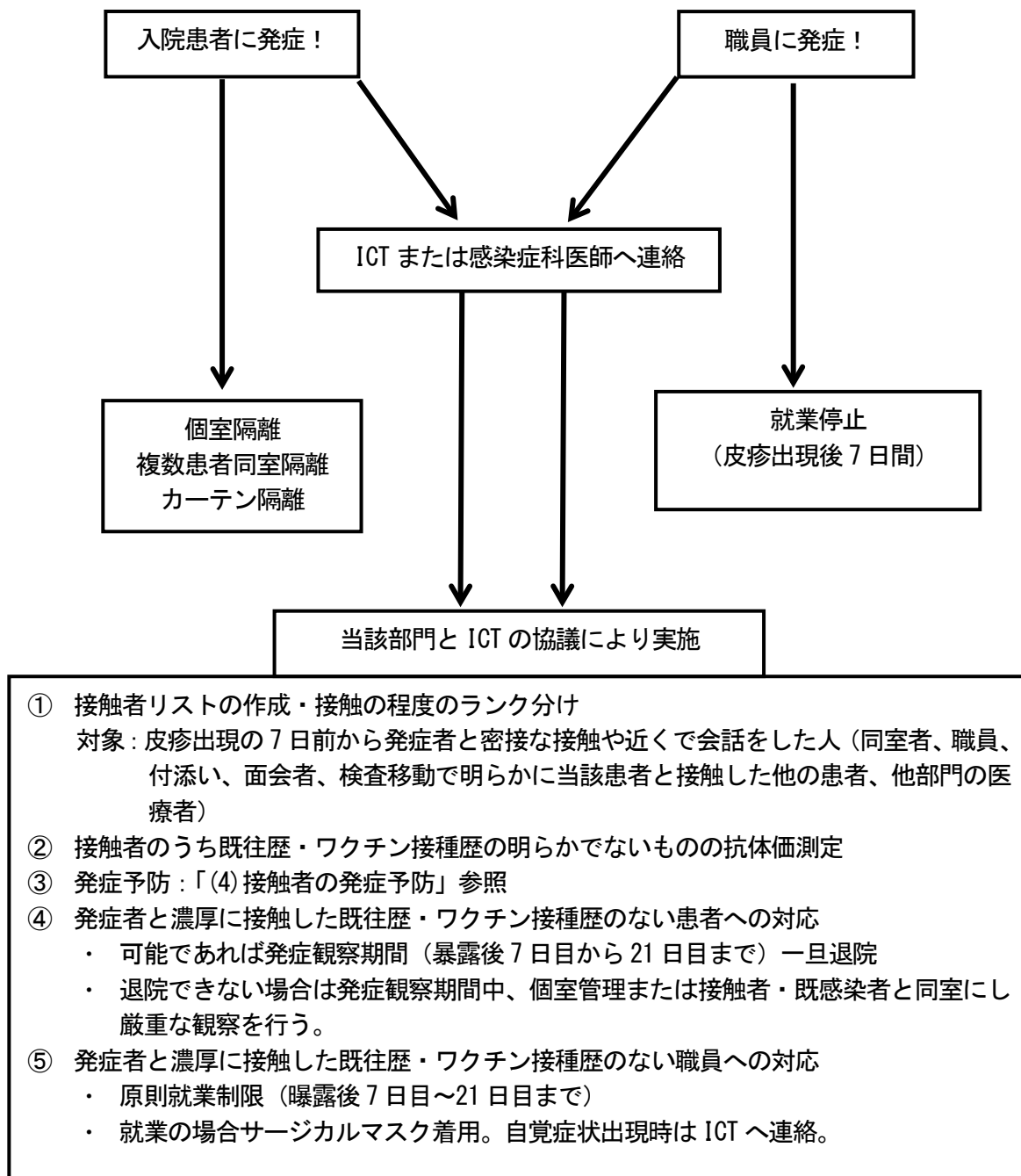
(1) 概要

原因	風疹ウイルス																																																																				
感染経路	鼻咽腔分泌物の飛沫感染（1m 以内）																																																																				
潜伏期	14～21 日																																																																				
症状・臨床経過	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">潜伏期間(14～21日間)</th> <th style="width: 10%;">1</th> <th style="width: 10%;">2</th> <th style="width: 10%;">3</th> <th style="width: 10%;">4</th> <th style="width: 10%;">5</th> <th style="width: 10%;">6</th> <th style="width: 10%;">7</th> <th style="width: 10%;">約1ヶ月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">感染</td> <td colspan="7" style="text-align: center;">発症</td> <td style="text-align: center;">治癒</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">リンパ節腫大 (耳介後部・後頭部・頸部)</td> <td colspan="7" style="text-align: center;">ウイルス排泄 (感染)期間</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">発熱 (°C)</td> <td colspan="7" style="text-align: center;">7日間</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">38</td> <td colspan="7" style="text-align: center;">←</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">37</td> <td colspan="7" style="text-align: center;">→</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">発疹 (顔面→体幹→四肢に広がる)</td> <td colspan="7" style="text-align: center;">不顕性感染例(30%) もウイルスを排泄する</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	潜伏期間(14～21日間)	1	2	3	4	5	6	7	約1ヶ月	感染	発症							治癒	リンパ節腫大 (耳介後部・後頭部・頸部)		ウイルス排泄 (感染)期間								発熱 (°C)		7日間								38		←								37		→								発疹 (顔面→体幹→四肢に広がる)		不顕性感染例(30%) もウイルスを排泄する							
潜伏期間(14～21日間)	1	2	3	4	5	6	7	約1ヶ月																																																													
感染	発症							治癒																																																													
リンパ節腫大 (耳介後部・後頭部・頸部)		ウイルス排泄 (感染)期間																																																																			
発熱 (°C)		7日間																																																																			
38		←																																																																			
37		→																																																																			
発疹 (顔面→体幹→四肢に広がる)		不顕性感染例(30%) もウイルスを排泄する																																																																			
診断	リンパ節腫脹（耳介後部・後頭部・頸部）、発熱 皮疹（顔面から遠心性に拡大。紅色の斑状丘疹。色素沈着なし。） 血清抗風疹ウイルス IgM 抗体																																																																				
治療	対症療法																																																																				
感染期間	皮疹出現 7 日前から出現後 7 日目まで																																																																				
学校保健法	発疹が消失するまで																																																																				

(2) 院内感染対策

- ① 飛沫感染予防策を行う。
 - ・ 個室管理による隔離を行う。同疾患患者同士はコホート管理可能。
 - ・ 患者の 1 m 以内の作業時や入室時サージカルマスクを着用する。
- ② 患者の室外への移動は厳しく制限する。やむを得ず病室より出る場合はサージカルマスクを着用する。
- ③ 物品の専用化は必要ない。
- ④ 免疫を有する職員が優先的に対応する。

(3) 入院患者・職員に発症した場合



(4) 接触者の発症予防

風疹に関しては、既往歴がなく抗体陰性の接触者へのワクチン接種や免疫グロブリン投与による発症予防効果は確認されていない。